

六甲山の災害展の実施結果について

1. 開催内容

(1) 開催時期

平成 21 年 6 月 16 日 (火) ～ 28 日 (日)

(2) 開催場所

人と防災未来センター 防災未来館 1 階企画展コーナー

(3) 展示内容

- ①六甲山系の土砂災害 (パネル)
- ②災害に強い森づくり (パネル)
- ③グリーンベルト事業 (パネル)
- ④土石流モデル実験
- ⑤降雨体験装置
- ⑥山の保水力実験

2. 来場者

(1) 傍聴者数

- 2 週間 (12 日間) にわたり、総計 3,378 人に対して土石流モデル実験等の説明を行った。
- 一日あたり最大 431 人 (6/26) に対して説明を行った。
- インフルエンザの影響のため例年に比べて全体的に来場者が少なかった。

※ 本データは土石流モデル実験等の説明者による概算を整理したものであり、パネル展示のみを傍観した来場者は含まれない。

※ グラフの合計は 3,378 名である

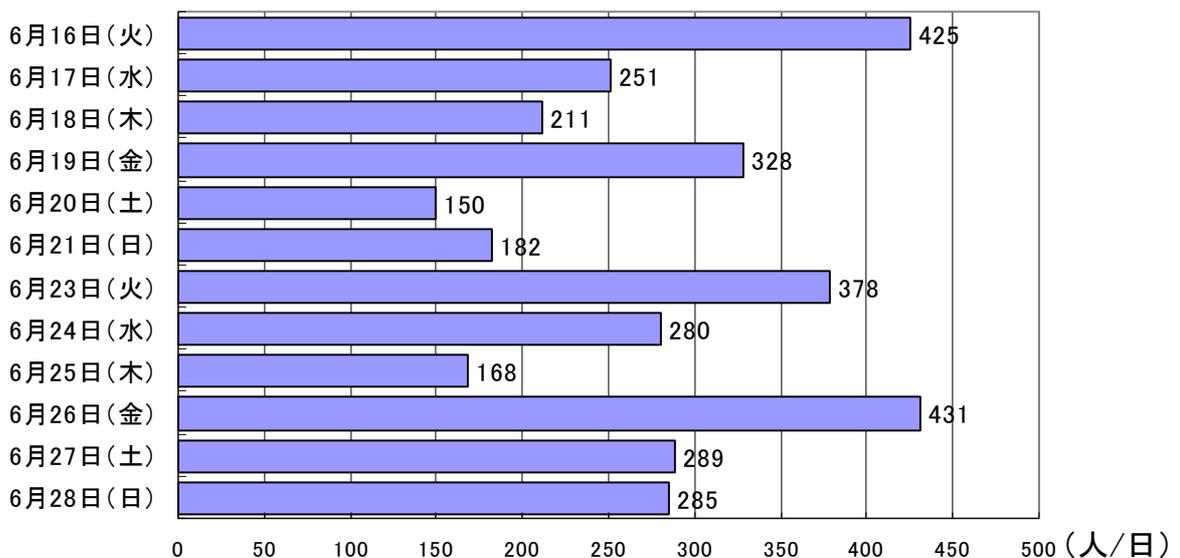


図 1 日別傍聴者数

(2) 来場者数（予約来場者）

- 一日あたり平均約 480 人の来場者数があった。インフルエンザの影響のため、昨年度の 6 割程度に落ち込んでいた。
- 来場者数に対して、平均約 60%の割合で土石流モデル実験等の説明を行った。
- 予約者数のうち、大人と学生の割合はおよそ 55 : 45であった。
- 県内からの来場者が約 20%、県外からの来場者が約 80%であり、県外からの来場者が比較的多い。

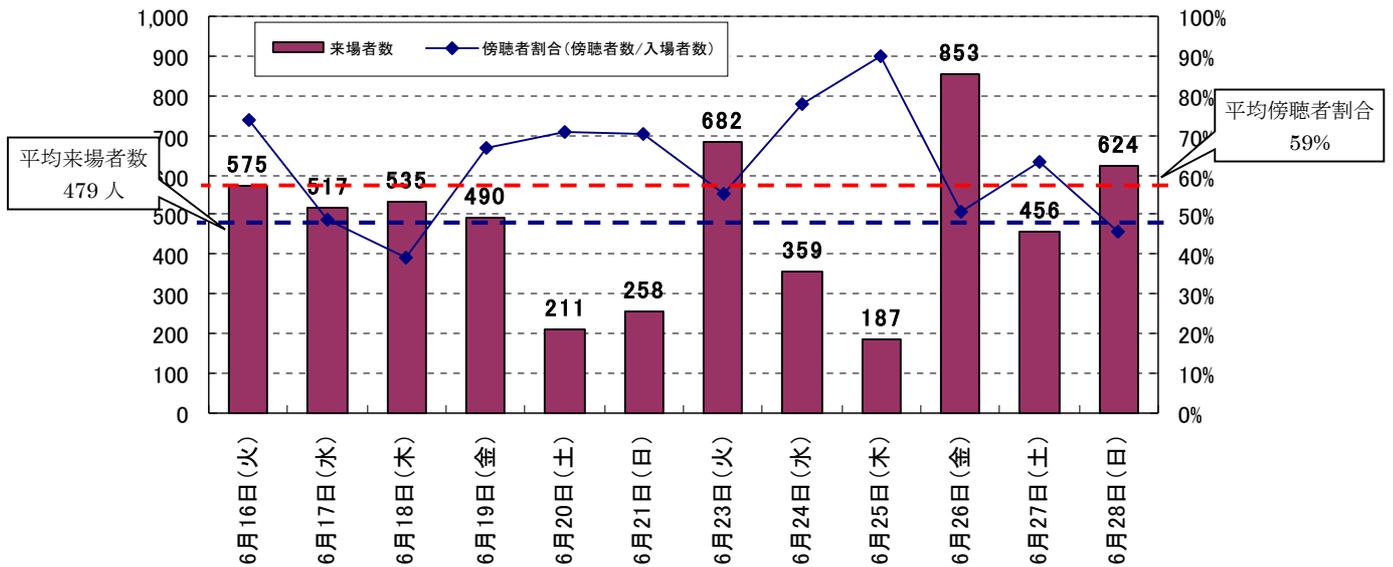


図2 日別来場者数と傍聴者割合

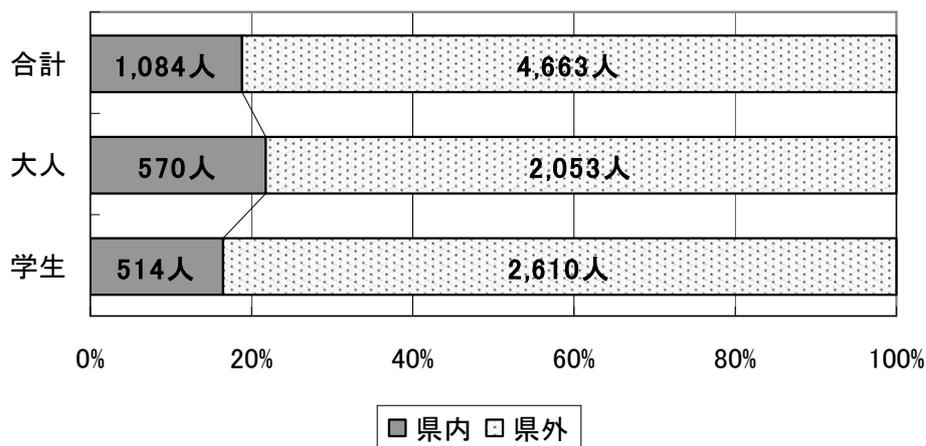


図3 県内外割合

3. アンケート結果

本アンケートの回答数が190枚であり、傍聴者に対して5.6%から得たアンケート結果をもとに本災害展の結果を分析した。

(1) 傍聴者の属性（アンケート回答者）

- 本災害展と関連のある阪神地区の傍聴者は1割強と低く、阪神地区以外の兵庫県内からの傍聴者も同程度の1割程度であった。
- 年齢で分類した場合、成人（18歳～60歳）が4割弱と最も多く、続いて中・高校生が3割強であった。
- 職業で分類した場合、学生が最も多く、続いて会社員が多い。

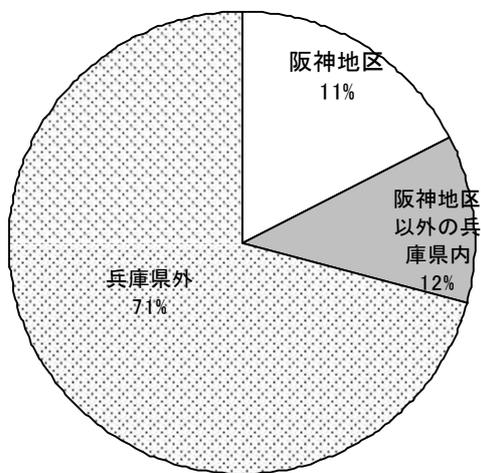


図4 傍聴者の居住地

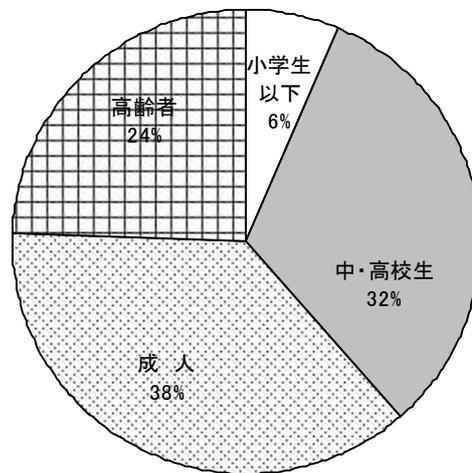


図5 傍聴者の年齢

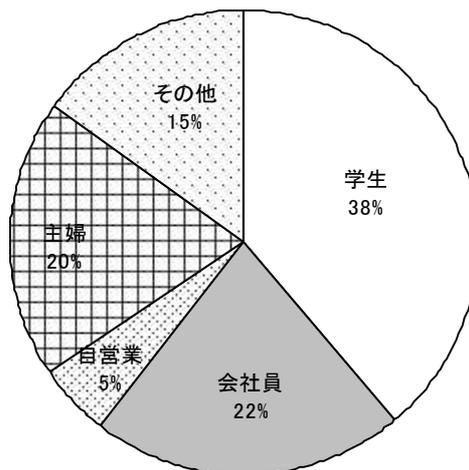


図6 傍聴者の職業

(2) 広報

- 本災害展を知らずに来場する人が全体の約4割を占めた。
- 記者発表による新聞記事および小冊子によるものの21%と現在実施している広報としては最も効果的であった。
- 口コミおよびその他の一部では、学校の先生がホームページ等で確認を行い、学生に伝達したものと考えられる。

※ 本災害展に係る広報内容は以下のとおりであった。

- 記者発表（資料配付）
- ホームページ掲載（兵庫県HP、人と未来防災センターHP）
- ラジオ関西（イベントのお知らせ）

※ 質問内容：「災害展を前もって知っていましたか？それはどこで知りましたか？」

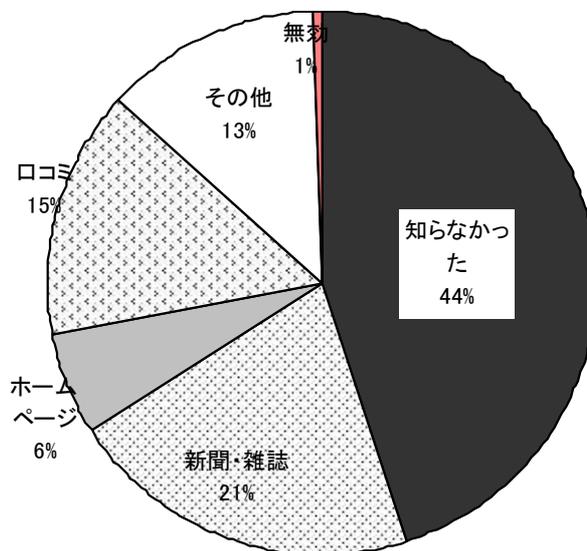


図6 県内外別の傍聴者の職業

(3) 災害展の効果

① 展示別の好感度

- 印象に残った展示として、『土石流実験装置』『震災関連パネル』が上位をしめ、好評であった。
- パネル展示の合計値が5割あり、パネル展示への関心が高いことがわかる。

※ 本回答は複数回答可能な質問をまとめたものである。

※ 質問内容：「印象に残った展示は次のうち、どれですか？」

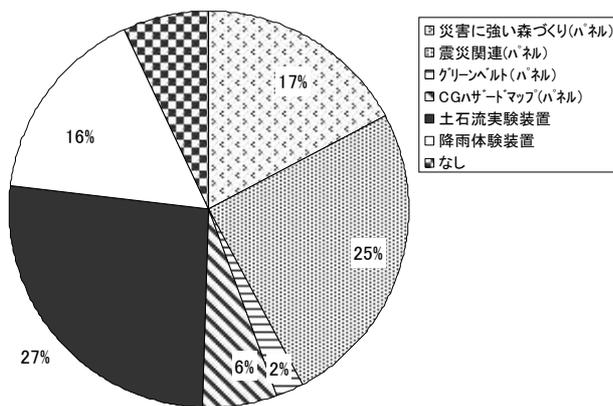
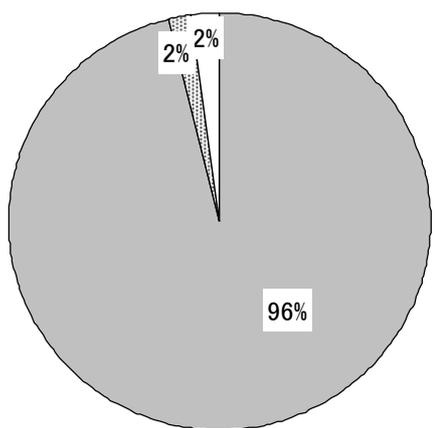


図7 展示別の好評展示物

② 災害展の影響

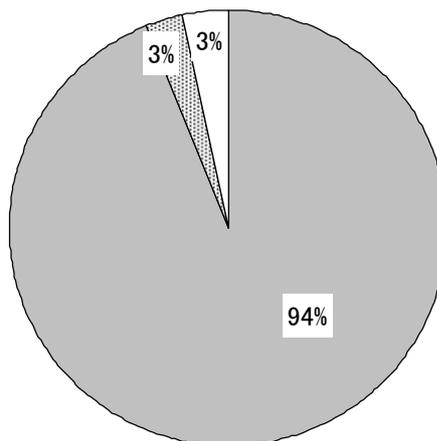
- 災害展の第1の目的である「災害に対する恐怖の再認識」「防災意識の向上」は概ね達成されている。
- ただし、本災害展のみによるものではなく、人と防災未来センターの展示効果を相まった結果と考えられる。

※ 質問内容：「災害の怖さを再認識しましたか？」 「あなたの防災に対する意識は向上しましたか？」



□ 怖さを再認識した □ 変わらない □ わからない

図9 怖さの再認識度



□ 防災意識が向上した □ 変わらない □ わからない

図10 防災意識の向上度

(4) 自由意見（主なもの）

①要望

- 実体験したような気分でした。もっと雨が強いを見たい。
- 災害予防を業者に強力的にしてもらいたい。

②災害展を見たことによる心境の変化

- ダムの賛否が全国のあちこちで争われていますが、土石流装置の説明で、ダムの異なった役割や効果のあることが分かりました。よりダム設置の内容を検討することで、その賛否を判断しなければと思いました。
- 参考になり、家でももっと話し合い、対策を立てたいと思いました。
- 土石流と聞いてもピンとこなかったが、実際に見せて頂いて、よく分かりました。森林は大切にしないといけないなと思い役割もあることに気付かされました。
- 保水力を保つため植林を多くしたい。
- 少しでも自分のできる事から環境・自然を守っていかねばならないと思いました。いい体験が来ました。
- ダムを増やせば増やすほど安全になることがわかった。
- 災害はとてつもないことだと分かりました。
- 自然の恐ろしさを知った。（2名）
- すごい怖いことを改めて実感しました。もし本当に起きた時にすばやい対応をでいるように意識しています。
- 自然災害は防ぐことはできないけれど、それを最大限減らすことはできるので日々、災害に対する意識を高めていきたい。

③災害展へ対する意見・感想

- ダムがあれば災害が少ないとゆうことがよくわかりました。（4名）
- 実験がおもしろかった。リアルでよかった。
- ダムがあるかないかで大きな違いが分かったので自宅の近くにこのようなダムがあるか探してみたい
- 治山と砂防の違いが少しわかったのでよかった。
- 私の住んでいる処にもダムがありますが、大風水が来たらダムが切れはしないかと心配です。（雨のたびに）
- 声が小さくて聞こえにくいのでマイクを使用願えたらと思いました。（2名）
- とにかくすごい驚きでした。今夜はゆめを見るかもしれません

④その他

- 減災に努めなければならない。ヘリポート建設が必要だと思います。人と防災未来センターの運営ボランティアの方々と皆様頑張って下さいね
- 二酸化炭素を減らす。エコに心がけて環境を悪くしないようにする。

※防災未来館の感想と思われるものは省いています。

以 上

参考資料

平成21年度 「六甲山の災害展」 アンケート

本日は、「六甲山の災害展」をご覧頂きありがとうございました。
よりよいイベントにしていくため、アンケートにご協力ねがいます。
当てはまるものを○で囲んで下さい。

1. 本日は、どちらから来られましたか？
①神戸・阪神地区 ②兵庫県内（神戸・阪神地区以外） ③それ以外
2. あなたの年齢を教えてください。
①12歳以下 ②13歳～18歳 ③19歳～60歳 ④61歳以上
3. あなたの職業を教えてください。
①学生 ②会社員 ③自営業 ④主婦 ⑤その他
4. 災害展を前もって知っていましたか？それはどこで知りましたか？
①知らなかった ②新聞・雑誌 ③ホームページ ④口コミ
⑤その他（ ）
5. 展示の内容で、印象に残ったものはありますか？
(複数でも結構です)
①（パネル）災害に強い森づくり ②（パネル）震災などの災害写真
③（パネル）グリーンベルト事業 ④（パネル）CGハザードマップ
⑤土石流模擬実験 ⑥降雨体験装置 ⑦特になし
6. 災害展を見て、災害の怖さを再認識しましたか？
①はい、しました ②あまり変わらない ③わからない
7. 災害展を見て、あなたの防災に対する意識は向上しましたか？
①はい、しました ②あまり変わらない ③わからない
8. 災害展を見た「感想」や「改善すればよいこと」など、何でも結構なので教えてください。

()

※記入できない場合は、裏面に記入してください。

ありがとうございました。貴重なご意見を参考にさせていただきます。

◇兵庫県農林水産部農林水産局治山課

◇兵庫県神戸県民局六甲治山事務所